

(2)生涯学習

目指すべき姿

一人ひとりが 学びを通して成長し みんなが輝くまち 千葉市

計画目標

新しい時代の市民の学びを支え、
生活や地域・社会に生かし、
多様な主体と連携・協働を図り
持続可能な社会を形成できる環境をつくる

「成果指標」における「達成状況」の記載について

令和6年度実績値の状況により4段階に分類

区分	説明（成果指標の達成状況基準）
◎	R6 実績値が中間目標値（R9）以上であるもの
○	R6 実績値が中間目標値（R9）以下、現状値（R3 または R4）以上であるもの
△	R6 実績値が現状値（R3 または R4）と同水準にあるもの
×	R6 実績値が現状値（R3 または R4）以下であるもの

「アクションプラン」における「進捗状況」の記載について

令和6年度実施状況により4段階に分類

区分	説明（計画事業の進捗状況基準）
順調	計画に対し、概ね計画どおり進捗しているもの。
遅れ	計画に対し、事業進捗に遅れが出ているもの。
休止	事業を休止し、今後再び実施する予定のもの。
中止	事業を中止し、今後も実施しないもの。

1 学習活動のきっかけと場の提供

施策の方針

基本施策 1-1 生涯学習の普及啓発

- 市民に学びの楽しさ、大切さに興味・関心を持ってもらえるよう、様々な機会を活用して情報を発信し、学習のきっかけづくりにつなげます。

成果指標

担当課： 生涯学習振興課、加曽利貝塚博物館、郷土博物館、
埋蔵文化財調査センター、中央図書館管理課

No.	成果指標	当初 (R3)	実績 (R6)	中間目標 (R9)	達成状況
1	生涯学習イベント延べ来場者数	30,343 人	64,176 人	83,400 人	○

※生涯学習センター、科学館、加曽利貝塚博物館、郷土博物館、埋蔵文化財調査センター、図書館
のイベント延べ来場者数

〈成果指標の分析〉

No.	達成状況に対する現状分析	今後の取組み等
1	イベントや市民講座を計画どおり実施し、概ね目標を達成できています。 特に、科学フェスタにおいては、昨年度より来場者が約8,000人増加し、目標を大きく上回りました。 また、郷土博物館では、9月30日から展示リニューアルで休館したため、前年度より来場者数は減っていますが、休館するまでの人数としては平年並みでした。	引き続き、新たな来場者の獲得に繋がるよう、イベントや市民講座を企画・実施します また、郷土博物館では令和6年度下半期から令和7年度上半期にかけて休館の上、展示リニューアルを行うため、その間のイベントは中止となりますが、リニューアル以降も多くの人々に興味関心を持ってもらうためにイベントは有効であることから、学びにつながる工夫をしながら継続していきます。

アクションプランの進捗

No.1 学習のきっかけづくりとなる生涯学習イベントの開催

担当課：生涯学習振興課、加曽利貝塚博物館、郷土博物館、埋蔵文化財調査センター、中央図書館

No.	事業名	令和6年度の実施状況	進捗状況
1	まなびフェスタ【継続】	・まなびフェスタを開催（12月7日、8日）	順調
2	公民館文化祭【継続】	・全47館のうち43館で実施 （未実施：隔年開催の2館、投票所開設に伴う中止1館、空調工事改修中のため休館1館）	順調
3	科学フェスタメインイベント【継続】	・千葉市科学フェスタ2024を開催 （10月12・13日）	順調
4	縄文春・秋まつりなどのイベント内での実施【継続】	・縄文春まつり （5/3・5/4は体験学習のみ実施。5/5は加曽利貝塚E地点・B地点発掘100周年記念式典開催） ・夏休み縄文ウィーク （8/14・8/15・8/17・8/18） ・縄文秋まつり （11/2実施。雨天のため物販中止。11/3は体験学習のみ実施） ・縄文ひろば （4月～3月の第2・第4日曜日のうち19回実施） ・体験プログラム （4月～3月の土・日・祝日開催、計84回実施）	順調
5	郷土の歴史に興味を持つきっかけづくりとなるイベントの実施【継続】	・鎧の試着体験を毎月第3土曜日に実施（9月まで） ・むかし遊び体験を毎月第2土曜日に実施（9月まで） ・火縄銃演武を8月18日に実施	順調
6	まいぶん古代体験教室【継続】	空調改修工事のため実施できず	休止
7	市民講座、企画展示等の実施【継続】	・市民講座を実施 17回実施、参加人数213人 ・企画展示を実施、369回 ・読書まつりを開催、来場者数5,842人 ・おはなし会（定例）を開催 695回実施、参加人数7,546人	順調

〈アクションプランの分析〉

No.1 学習のきっかけづくりとなる生涯学習イベントの開催

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
1	市民が日頃の学習活動の成果を発表し、相互学習の場、交流の場とするとともに、生涯学習活動の普及・啓発を図りました。	生涯学習の意義や学びの楽しさを伝える機会として、継続的に取り組みます。
2	日頃の学習成果の発表の場、住民の交流、親交を深める場となり、生きがい、地域づくりにつながる取り組みの一つとなっています。	文化祭の運営を担っているクラブ連絡協議会等と引き続き連携、協力し、文化祭の開催を支援していきます。
3	2日間で合計16,181人の来場があり、昨年度より約8,000人増加しました。49団体が科学体験ブースや科学実験・工作教室を催し、内9団体の初出展がありました。市内・県内の中高科学部の出展も増え、市民が主体的に科学イベントに関わることのできる機会の提供ができています。	市民が日常生活の中で科学・技術を身近に感じることのできる総合的な科学・技術の祭典として、継続的に取り組みます。 ホームページやSNSを活用し、積極的に情報発信していきます。
4	11月2日の秋まつりは雨により、縮小開催となりましたが、年間通じて各種イベントを数多く開催し、気軽に学習・体験できる機会を提供しました。参加者からはおおむね好評いただいております。縄文時代や加曽利貝塚に関心を持ってもらうきっかけとなっていると考えられます。	今後も継続してイベントを開催し、楽しみながら縄文文化を学ぶことのできる機会を提供していきます。
5	イベントで体験することにより郷土の歴史への興味関心を持ってもらう機会となりました。	令和6年度下半期から令和7年度上半期にかけて休館の上、展示リニューアルを行うため、その間のイベントは中止となりますが、リニューアル以降も多くの人々に興味関心を持ってもらうためにイベントは有効であることから、学びにつながる工夫をしながら継続していきます。
6	埋蔵文化財調査センターの空調改修工事のため、会場が確保できず、実施できませんでした。	埋蔵文化財に興味・関心をもってもらえる機会として、継続的に実施していきます。
7	様々な講座を開催し、講座に関連するテーマの企画展示を行い、関連資料の貸出を行いました。企画展示及びタイムリーな話題に対応するミニ展示を実施しました。企画展示に併せて関連する資料の購入を行い、展示・紹介する資料の充実に努めました。また、展示・紹介することによって利用促進を図りました。	市民講座等、コロナ禍以前の水準まで実施数・参加人数等を拡大していきます。 市民講座や読書まつりの参加人数や来場者数を維持しつつ、企画展示実施数の向上に努めます。

アクションプランの進捗

No.2 学ぶ場と学ぶための情報提供の充実【拡充あり】

担当課：生涯学習振興課、中央図書館管理課

No.	事業名	令和6年度の実施状況	進捗状況
1	SNS等の活用、市以外が実施する講座情報の収集・提供【継続】	・LINE等で講座情報発信 ・パンフレット等の案内情報の配布・閲覧	順調
2	SNSを活用した講座情報の提供【拡充】	・千葉市公民館の公式Xを開設	順調
3	SNSを活用したイベントの配信【継続】	・XやFacebookを活用し、企画展示やイベント等に関する情報発信	順調
4	オンラインを活用した科学館リニューアル展示の紹介【拡充】	・YouTube「千葉市科学館」で20本の動画コンテンツを配信	順調

〈アクションプランの分析〉

No.2 学ぶ場と学ぶための情報提供の充実【拡充あり】

No.	主な成果と考察	今後の取り組み等
1	LINE等のSNSを活用し、効果的に講座情報を発信しました。 生涯学習広場にて、近隣大学等の講座情報や資格取得に関する情報を提供しました。	近隣大学等の講座・イベント情報を収集し、SNSや生涯学習広場で情報発信をするなど継続的に取り組みます。
2	千葉市公民館の公式Xにより、自習室の開放状況や講座等の情報発信を行いました。	発信する情報を充実させ、より多くの方への情報発信に努めます。
3	Xの更新頻度を多くする等、積極的な情報発信に努め、イベントの情報のほか図書の紹介等も発信したが、より多様な情報発信について検討します。	千葉市図書館のイベントや緊急情報を、利用者に広く周知できるよう、継続的にSNS投稿を行っていきます。
4	YouTubeの千葉市科学館公式チャンネルにて展示物やイベント等のPRを行っています。 (火星ローバーコンテストのダイジェスト動画や工作・実験動画も含む) 令和6年度は6コンテンツ追加しました。	今年度末目標の21コンテンツに向けて、1コンテンツの追加を目指して、科学館と協議検討をしていきます。

アクションプランの進捗

No.3 e ラーニングの普及事業の実施

担当課：生涯学習振興課

No.	事業名	令和 6 年度の実施状況	進捗状況
1	e ラーニング普及事業の実施【継続】	・オンライン動画学習サービス提供、タブレット貸出	順調

〈アクションプランの分析〉

No.3 e ラーニングの普及事業の実施

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
1	株式会社 Schoo と連携し、オンライン動画学習サービスの提供とタブレットの貸出を実施し、e ラーニングの機会を提供しました。	株式会社 Schoo と連携し、e ラーニングの普及に取組みます。

基本施策 1-2 学習環境の整備

施策の方針

- 学びに興味を持った市民が学習活動をはじめるとあって、快適に参加しやすく、新しい時代に合った学習環境の整備を行うとともに、子どもや若者をはじめ、あらゆる世代が利用しやすい環境づくりに努めます。

成果指標

担当課：生涯学習振興課、加曽利貝塚博物館、郷土博物館、埋蔵文化財調査センター、文化財課

No.	成果指標	当初 (R3)	実績 (R6)	中間目標 (R9)	達成状況
2	生涯学習施設延べ利用者数 ※	1,161,879 人	1,604,527 人	2,032,500 人	○
3	生涯学習センターの施設稼働率	47.7%	56.3%	63.0%	○
4	公民館の施設稼働率(調理室を除く)	39.0%	51.1%	53.0%	○

※生涯学習センター、公民館、科学館、加曽利貝塚博物館、郷土博物館、埋蔵文化財調査センター旧生浜町役場、ゆかりの家・いなげ の延べ利用者数

〈成果指標の分析〉

No.	達成状況に対する現状分析	今後の取組み等
2	<p>公民館では、施設稼働率は上昇していますが、個人利用の増加、利用者の高齢化などの影響もあり、利用者数はコロナ禍前の人数には至らない状況です。</p> <p>生涯学習センターでは、イベントや市民講座を計画どおり実施し、概ね目標を達成できています。</p> <p>科学館では、プラネタリウムリニューアル後の好調、企画展の盛況(目的とターゲットが合致)から、昨年度からも4万弱の利用者数の増加がありました。</p> <p>郷土博物館では、9月30日から展示リニューアルで休館したため、利用者数は昨年度より減少していますが、休館するまでの利用者人数としては平年並みでした。</p> <p>埋蔵文化財調査センターでは、8月～1月は空調修繕に伴い展示室を休室したため、実績値が低くなりました。</p> <p>旧生浜町役場庁舎では、耐震性を満たしていないため令和4年度から利用制限を行っており、利用者数の増加が難しい状況です。</p>	<p>引き続き、新たな利用者の獲得に繋がるよう、イベントや市民講座を企画・実施します。</p> <p>また、郷土博物館では、令和6年度下半期から令和7年度上半期にかけて展示リニューアルを行うため、休館しておりますが、開館後は展示やイベントなどの適時開催により、来館者数が増加するよう工夫します。</p> <p>旧生浜町役場、ゆかりの家・いなげでは耐震補強工事、屋根修繕、耐震診断等の早期の実施に向け検討を進めていきます。</p>

	ゆかりの家・いなげは、劣化が激しく、積極的な利用促進ができないため、利用者数の増加が難しい状況です。	
3	利用者の利便性の向上を図り、目標達成に努めました。	新たな施設利用者を獲得できるよう広報を強化するとともに、利用者のニーズを踏まえた環境整備に努めます。
4	個人利用が増えているほか、空き室を自習室として活用したりするなどし、施設の有効活用に努めたことにより、稼働率が上昇しています。	利用者アンケートなどを参考にし、計画的な修繕等により、市民にとって快適で利用しやすい施設となるよう努めます。

アクションプランの進捗

No.1 生涯学習施設等の利用環境の充実【新規あり・拡充あり】

担当課：生涯学習振興課、中央図書館管理課

No.	事業名	令和6年度の実施状況	進捗状況
1	生涯学習センターのWi-Fi環境の整備【継続】	・Wi-Fi環境の整備	順調
2	公民館のWi-Fi環境の整備【継続】	・Wi-Fi環境の整備	順調
3	科学館のWi-Fi環境の整備【新規】	・Wi-Fi環境の整備	順調
4	図書館のWi-Fi環境の整備【継続】	・Wi-Fi環境の整備	順調
5	生涯学習センターのオンライン講座の充実【継続】	・オンライン講座を実施 38講座 延受講者数 4,798人 ・メディア学習講座を実施 55講座 延受講者数 1,884人	順調
6	公民館のオンライン講座の充実【拡充】	・オンライン講座を実施 172講座 (R6目標 82講座)	順調
7	科学館の安定した運用とサービスの充実【拡充】	・プラネタリウム利用者 131,936人	順調

〈アクションプランの分析〉

No.1 生涯学習施設等の利用環境の充実【新規あり・拡充あり】

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
1	施設内で Wi-Fi 接続ができる環境を整備し、施設利用者の利便性や学習環境の向上を図りました。	Wi-Fi 設置により施設利用者の利便性や学習環境の向上を図ります。
2	公民館のロビーや諸室において公衆無線 LAN サービスを提供しました。	継続してサービスを提供します。
3	科学館内で実施する講座における学習環境の向上を図りました。	Wi-Fi 環境の活用により施設利用者の利便性や学習環境の向上を図ります。
4	Wi-Fi 環境が整備されていることにより、施設利用者の利便性や学習環境の向上を図りました。また、災害時には、電話回線が利用しにくくなる可能性があり、代替の通信手段としても活用できると考えます。	引き続き、国が示している「Wi-Fi 提供者向けセキュリティ対策の手引き」に基づき、安全で快適な利用環境の提供を行っていきます。
5	主催講座のほか、公民館と連携してオンライン講座を実施しました。 デジタルデバйд解消のため、初心者を対象としたパソコン講座やスマホ教室等を実施しました。	効果的なオンライン講座を実施することで受講者の利便性を高め、各種メディア学習事業の実施によりデジタルデバйдの解消に向け、継続的に取り組みます。
6	生涯学習センター等と連携し、他施設の講座をサテライト配信したり、サークルの発表の様子を YouTube で公開するなどオンラインを活用した事業を実施しました。	引き続き、市民に多様な学習の機会を提供するため、オンラインを活用した事業を実施します。
7	プラネタリウムの安定的な運用に向けて R7 年 1 月より投影機器及びシステムを更新しました。	更新した投影機器とシステムにより、科学にとどまらないエンターテイメント要素も含んだプログラムを展開します。これまでに実施してきた市内学校、施設との連携、ボランティアや大学や企業との連携を継続し、継続事業の定着を図ります。開府 900 年とも関連させた取り組みも検討します。

アクションプランの進捗

No.2 子どもの居場所づくりの推進【拡充あり】

担当課：こども企画課、生涯学習振興課

No.	事業名	令和6年度の実施状況	進捗状況
1	どこでもこどもカフェ、プレーパークの実施【拡充】	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの居場所の拡充について、R6目標は2カ所増のところ、7カ所増加 「どこでもこどもカフェ」32カ所 「プレーパーク」8カ所 	順調
2	公民館自習室の開放【継続】	<ul style="list-style-type: none"> 全47館で実施 利用者19,421人 	順調

〈アクションプランの分析〉

No.2 子どもの居場所づくりの推進【拡充あり】

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
1	令和6年度に「どこでもこどもカフェ」が、市内7カ所で新規に開催され、多くのこどもの居場所を作ることができています。	開催個所数が横ばいの「プレーパーク」について、市民の方への周知および、市民ボランティアの育成などの取り組みを進め、開催個所数の増加を目指します。
2	子どもの居場所作りの一環として小学生から大学生を対象に、空いている諸室やロビーを自習室として開放しました。	今後も引き続き、子どもの居場所作りの一環として自習室の開放を行って行きます。

アクションプランの進捗

No.3 生涯学習施設の老朽化への対応【新規あり】

担当課：生涯学習振興課、中央図書館管理課

No.	事業名	令和 6 年度の実施状況	進捗状況
1	社会教育施設保全計画の策定【新規】	・計画案の作成	順調
2	千城台公民館・若葉図書館の再整備【新規】	・千城台公民館・若葉図書館複合施設整備基本設計を策定	順調
3	生涯学習施設の改修・修繕【継続】	・公民館 402 件 ・図書館 27 件	順調

〈アクションプランの分析〉

No.3 生涯学習施設の老朽化への対応【新規あり】

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
1	社会教育施設を適切に維持できるよう計画策定に向けた各種検討を実施し、計画案を作成しました。	計画案に関するパブリックコメント手続きを実施し、いただいた意見を踏まえたうえで計画の策定を進めます。
2	千城台公民館・若葉図書館複合施設整備基本計画を踏まえ、基本設計を行いました。	基本計画で定めた令和 11 年度の竣工に向け、令和 7 年度に実施設計、令和 8 年度～11 年度に建設工事を進めています。
3	各施設の改修・修繕を実施しました。	引き続き、各施設の改修・修繕を行います。

アクションプランの進捗

No.4 公民館の改修

担当課：生涯学習振興課

No.	事業名	令和 6 年度の実施状況	進捗状況
1	公民館のバリアフリー化【継続】	・ 階段や床タイルの修繕	順調

〈アクションプランの分析〉

No.4 公民館の改修

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
1	段差の解消や割れ・浮きが生じていた床タイルを修繕し、利用向上を図りました。	施設の再整備と合わせてエレベーターや多目的トイレを設置するなど、バリアフリー化を進めます。

2 多様な学習機会の充実

基本施策 2-1 郷土や地域への愛着を深める学習機会の提供

施策の方針

- 郷土や地域に対する理解と愛着を深めるため、本市の歴史・文化資源を活用するとともに、地域に密着した資源も活用した学習機会を提供します。

成果指標

担当課：生涯学習振興課、加曽利貝塚博物館、郷土博物館、埋蔵文化財調査センター

No.	成果指標	当初 (R3)	実績 (R6)	中間目標 (R9)	達成状況
5	郷土の理解を深める講座受講者数	2,711 人	2,715 人	4,500 人	○
6	身近な地域の理解を深める講座受講者数	3,047 人	9,879 人	4,100 人	◎

〈成果指標の分析〉

No.	達成状況に対する現状分析	今後の取組み等
5	公民館では、千葉氏や加曽利貝塚などを学ぶ講座を 23 講座実施しました。 郷土博物館、埋蔵文化財調査センターの各講座の受講者数自体は平年並みです。 加曽利貝塚博物館では、令和 5 年度と比べると、大幅に参加者が増加しています。特別研究講座を 2 日間開催したことにより、学習機会を求めて受講する人が増えたと考えられます。	引き続き、参加者の知的欲求に応えられるよう、郷土の理解を深める学習機会を提供していきます。 郷土博物館では、令和 6 年度下半期から令和 7 年度上半期にかけて休館の上、展示リニューアルを行うため、その間中止となる講座はありますが、リニューアル後も様々なテーマで郷土の歴史について理解が深まる講座の実施を継続していきます。
6	地域にゆかりのある人物や歴史、郷土料理などを学ぶ講座を 339 講座実施しました。	引き続き、市民の学習ニーズや地域の特性などを考慮して講座等の企画を行っていきます。

アクションプランの進捗

No.1 郷土や身近な地域の理解を深める講座・事業の充実

担当課：生涯学習振興課、文化財課、加曽利貝塚博物館、郷土博物館、埋蔵文化財調査センター

No.	事業名	令和6年度の実施状況	進捗状況
1	加曽利貝塚など縄文時代の理解を深める講座・事業【継続】	【加曽利貝塚博物館】 <ul style="list-style-type: none"> ・自然観察ワークショップ（5/25） ・加曽利 JOMON ウォーク（3/22） ・縄文時代研究講座（12/14・12/22・1/18・1/25・2/17・3/2） ・特別研究講座（11/22・11/23） ・博物館連携講座（8/31） 【埋蔵文化財調査センター】 <ul style="list-style-type: none"> ・加曽利貝塚発掘調査現地説明会（11/30） ・遺跡発表会（9/29） 	順調
2	千葉氏など郷土の歴史の理解を深める講座・事業【継続】	【郷土博物館】 <ul style="list-style-type: none"> ・千葉氏公開市民講座を6月29日と12月14日に実施 ・市史研究講座を10月12日と10月19日に実施 ・古文書講座（初級・中級）を6月～8月に実施 【埋蔵文化財調査センター】 <ul style="list-style-type: none"> ・ちば埋文講座を9月11日に実施 ・特別展関連講座・ワークショップをそれぞれ2回実施 ・埋文センターの展示解説を実施 	順調
3	千葉氏ゆかりの地への案内看板設置【継続】	・千葉氏にゆかりのある史跡や伝承スポット3箇所に案内看板を設置（白幡神社、来迎寺、城ノ台遺跡）	順調
4	身近な地域の理解を深める講座・事業の充実【継続】	<ul style="list-style-type: none"> ・講座の実施 339 講座 延受講者数 9,879 人	順調

〈アクションプランの分析〉

No.1 郷土や身近な地域の理解を深める講座・事業の充実

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
1	<p>加曽利貝塚博物館では、加曽利貝塚など縄文時代に関する講座を開催し、発掘・研究成果を市民に還元するとともに縄文時代に興味・関心をもってもらえる機会を提供しました。</p> <p>特別研究講座では加曽利貝塚 E 地点・B 地点発掘 100 周年記念シンポジウムを 2 日間開催しました。また各種講座は定員に近い応募があるなど、興味・関心の高さがうかがえました。</p> <p>埋蔵文化財調査センターでは、加曽利貝塚の現地説明会の開催等を通じて発掘・研究成果を市民に還元するとともに縄文時代に興味・関心をもってもらえる機会を提供しました。</p>	<p>縄文文化や加曽利貝塚に関する学びの機会として、継続的に取り組みます。</p>
2	<p>千葉氏をはじめとする郷土の歴史について多面から学ぶ機会となったと考えています。</p>	<p>令和 6 年度下半期から令和 7 年度上半期にかけて休館の上、展示リニューアルを行うため、その間中止となる講座はありますが、リニューアル後も様々なテーマで郷土の歴史について理解が深まる講座の実施を継続していきます。</p> <p>埋蔵文化財調査センターでは、市内の遺跡の発掘調査成果に基づき、郷土の歴史に興味・関心をもってもらえる機会として、継続的に講座を実施していきます。</p>
3	<p>計 3 箇所の千葉氏ゆかりの地に案内看板を設置し、千葉開府 900 年に向けて PR することが出来ました。なお、市内千葉氏ゆかりの案内看板は 20 箇所となっています。</p>	<p>令和 8 年度の千葉開府 900 年に向けて、2 年間で 5 箇所以上の千葉氏看板設置を目指します。</p>
4	<p>地域にゆかりのある人物や歴史、郷土料理などを学ぶ講座を 339 講座実施しました。</p>	<p>引き続き、市民の学習ニーズや地域の特性などを考慮して講座等の企画を行っていきます。</p>

アクションプランの進捗

No.2 特別史跡加曽利貝塚の魅力向上

担当課：文化財課

No.	事業名	令和 6 年度の実施状況	進捗状況
1	新博物館の整備【継続】	・物価高騰等の理由により令和 5 年度の入札が中止となったため、令和 7 年度における整備運営事業者の選定に向け、社会経済情勢等を踏まえた入札条件を検討	遅れ
2	史跡の整備【継続】	・第 2 期史跡整備基本計画の調査検討を実施 ・貝層保護のための樹木伐採を実施(北貝塚 98 本伐採) ・復元住居の製作設置を先送り	遅れ

〈アクションプランの分析〉

No.2 特別史跡加曽利貝塚の魅力向上

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
1	博物館整備に実績のある事業者からのヒアリングや見積り徴収をおこない、社会経済情勢に的確に対応した条件を策定できました。 令和 8 年度からの事業開始を見据え、事業用地の土壌汚染調査を進めました。	令和 7 年度に入札を成立させ、年度末までに整備運営事業者との事業契約を締結します。 あわせて、令和 8 年度からの事業開始に向け、引き続き土壌汚染調査と用地内の遺跡発掘調査を進めます。
2	第 2 期史跡整備基本計画の計画内容について、千葉県史跡保存整備委員会での審議が不十分との意見を受け、調査検討期間を延長しました。 復元住居の製作設置について、発注仕様等の見直しを行いました。	第 2 期史跡整備基本計画は調査検討を継続し、令和 8 年度に計画を策定する予定です。 樹木伐採は令和 8 年度まで計画的に実施する予定です。 復元住居は令和 7 年度は見直した発注仕様等により入札を行う予定です。

アクションプランの進捗

No.3 縄文文化調査研究の推進

担当課：文化財課、加曽利貝塚博物館、埋蔵文化財調査センター

No.	事業名	令和6年度の実施状況	進捗状況
1	特別史跡加曽利貝塚の究明に向けた発掘調査【継続】	<ul style="list-style-type: none"> ・第18次発掘調査を9月から12月まで実施 ・第16次発掘調査(R2～R4調査)の整理作業を通年で実施 	順調
2	縄文時代の文化や社会に関する研究【継続】	<p>【加曽利貝塚博物館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・貝塚博物館紀要第51号を3月に刊行 <p>【埋蔵文化財調査センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内の重要貝塚・縄文集落と出土遺物の分析・研究を実施 <p>【文化財課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・早稲田大学による地中レーダー探査の成果報告書を刊行 	順調

〈アクションプランの分析〉

No.3 縄文文化調査研究の推進

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
1	令和5年度から開始した北貝塚の第18次発掘調査を引き続き行いました。 また、第16次発掘調査(R2～R4調査)の整理作業を通年で行いました。	令和5年度から着手した第18次発掘調査を令和7年度までの3か年計画で実施する予定です。 令和2年度から4年度まで実施した第16次発掘調査の成果について令和8年度に調査報告書を刊行する予定です。
2	加曽利貝塚博物館で刊行した紀要には、千葉市内の縄文時代貝塚出土の動物遺存体に関する論文や土器に関する論文を掲載しました。 埋蔵文化財調査センターでは、市内の主要な縄文貝塚・集落及びその出土資料の分析・研究（外部保管されている加曽利貝塚出土資料、鳥喰東遺跡の整理）、縄文土器製作技術研究（千葉市最古の縄文土器等の復元製作等）を実施しました。 文化財課では、平成29年度から令和5年度まで実施した地中レーダー探査の成果を取りまとめ、成果報告書を刊行しました。	加曽利貝塚博物館では、今後も紀要の刊行を行っていきます。また委託研究も実施します。 埋蔵文化財調査センターでは、市内の主要な縄文貝塚・集落及びその出土資料の分析・研究（外部保管されている加曽利貝塚出土資料、鳥喰東遺跡の整理）、縄文土器製作技術研究（縄文時代前期土器の復元製作等）を実施予定です。 地中レーダー探査の成果等については、博物館の展示等で活用していく予定です。

アクションプランの進捗

No.4 千葉氏をはじめとする郷土の歴史に関する企画展の実施

担当課：郷土博物館

No.	事業名	令和 6 年度の実施状況	進捗状況
1	千葉氏をはじめとする郷土の歴史に関する企画展の実施【継続】	・千葉氏パネル展「千葉氏をめぐる水の物語」（5 月 28 日～9 月 29 日）を開催	順調

〈アクションプランの分析〉

No.4 千葉氏をはじめとする郷土の歴史に関する企画展の実施

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
1	休館のため、例年より企画展の数は減りましたが、開催した企画展については千葉氏をはじめとする郷土の歴史について、理解を深めることができる展示内容で、来館者からも好評でした。	展示リニューアルのための休館中は企画展の実施はできませんが、リニューアルオープン後の企画展実施に向けて準備していきます。

アクションプランの進捗

No.5 千葉氏に関する調査研究の推進【拡充あり】

担当課：郷土博物館、埋蔵文化財調査センター

No.	事業名	令和6年度の実施状況	進捗状況
1	千葉氏に関する史料の調査【拡充】	・千葉氏に関する史料調査を実施するとともに『千葉氏史料集』の刊行に向けての準備作業の実施	順調
2	千葉氏関連遺跡等の発掘調査の実施【拡充】	・院内公園（中央区中央）で試掘調査を実施	順調

〈アクションプランの分析〉

No.5 千葉氏に関する調査研究の推進【拡充あり】

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
1	千葉氏に関する県内、県外の史料調査を実施することで、関係史料の収集が進んでいます。史料集刊行の準備も順次行っています。	史料調査を継続する一方で、令和7年度中に史料集を刊行するための編集作業を進めます。
2	院内公園（中央区中央）で試掘調査を実施しましたが、遺構・遺物ともに検出されませんでした。	資料の整理等を行います。

アクションプランの進捗

No.6 郷土博物館の充実

担当課：郷土博物館

No.	事業名	令和 6 年度の実施状況	進捗状況
1	郷土博物館の展示の充実【継続】	・展示リニューアル	順調

〈アクションプランの分析〉

No.6 郷土博物館の充実

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
1	展示していない時代があるなど多くの課題があるこれまでの展示について、千葉市の今日までのあゆみがわかる通史展示にリニューアルを行っています。	令和 6 年度下半期から令和 7 年度の上半期にかけて、休館の上、館内の展示リニューアルを行います。

アクションプランの進捗

No.7 千葉市史史料編近現代の刊行

担当課：郷土博物館

No.	事業名	令和 6 年度の実施状況	進捗状況
1	千葉市史史料編近現代の刊行【継続】	・『千葉市史史料編 12 現代 1』の編集	順調

〈アクションプランの分析〉

No.7 千葉市史史料編近現代の刊行

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
1	令和 8 年度に刊行予定の『千葉市史史料編 12 現代 1』の編集作業を進めています。	近現代史料編の第 3 巻目となる『千葉市史史料編 12 現代 1』を刊行するため、編集作業を進めています。

アクションプランの進捗

No.8 文化財の保存・活用の推進

担当課：文化財課

No.	事業名	令和 6 年度の実施状況	進捗状況
1	文化財保存活用地域計画の作成 【継続】	・計画本編の作成、文化財リストの作成	順調

〈アクションプランの分析〉

No.8 文化財の保存・活用の推進

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
1	計画本編の内容についてとりまとめ、全 2 回実施した協議会において、内容の協議を行い、計画に反映しました。	令和 7 年度にパブリックコメントを実施、12 月の認定を目指します。

アクションプランの進捗

No.9 地域情報サービスの充実【新規あり】

担当課：中央図書館情報資料課

No.	事業名	令和 6 年度の実施状況	進捗状況
1	「千葉市民の知」の計画的な集積と発信【新規】	・市民インタビューによるオーラルヒストリーを収集・保存・公開 作成等（10 件）、アクセス数（約 3200 件）	順調

〈アクションプランの分析〉

No.9 地域情報サービスの充実【新規あり】

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
1	市民インタビューによるオーラルヒストリー（小冊子）を 10 件作成し、市図書館で所蔵するとともに、WEB（地域情報デジタルアーカイブ）上でも公開することにより、市民の学ぶ機会を提供することができました。	R5 年度に策定したデジタルアーカイブ化計画に基づき、令和 7 年度以降も、毎年度 10 件程度のオーラルヒストリーを新たに作成し、WEB上に公開することにより市民の学びの場を提供していきます。

基本施策 2-2 市民ニーズに対応した学習機会の提供

施策の方針

- 多様化する社会において、多岐にわたる市民の学習ニーズに対応するとともに、すべての市民が必要な時に必要な学びができる、幅広い分野にわたる学習機会を提供します。

成果指標

担当課：生涯学習振興課

No.	成果指標	当初 (R3)	実績 (R6)	中間目標 (R9)	達成状況
7	公民館延べ利用者数	634,624 人	844,998 人	1,098,000 人	○
8	学習相談者数 (生涯学習センター・公民館)	3,091 人	2,559 人	3,500 人	×

〈成果指標の分析〉

No.	達成状況に対する現状分析	今後の取組み等
7	施設稼働率は上昇していますが、個人利用が増えていたり、利用者の高齢化などもあり、利用者数はコロナ禍以前までは戻っていない現状があります。	公民館の周知、主催講座の充実等を通じて利用者数の増を目指します。
8	サークルや講座の情報提供、参加についての相談などに対応しましたが、必要な情報を利用者自身で容易に検索できるようになったことも影響し、相談者数が減少しました。	引き続き、市民の学習ニーズに応えるべく相談に対応するとともに、HP や広報紙などによる広報に努めます。

アクションプランの進捗

No.1 文化・芸術学習事業の実施

担当課：文化振興課

No.	事業名	令和6年度の実施状況	進捗状況
1	文化・芸術学習事業の実施【継続】	<ul style="list-style-type: none"> ・チバリアフリーアートプロジェクト Vol.8 を 12 月 8 日に実施 ・体験・創造ワークショップを 2 月 24 日に実施 	順調

〈アクションプランの分析〉

No.1 文化・芸術学習事業の実施

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
1	チバリアフリーアートプロジェクトを開催し、市民が主体となるような事業や子ども・若者が文化芸術に親しむことができる事業を実施しました。 また、体験・創造ワークショップを開催し、子どもが最新のメディア芸術に触れ、親しみ、興味を持つ機会の拡充を図りました。	「第3次千葉市文化芸術振興計画」に基づき、チバリアフリーアートプロジェクト等の文化芸術事業やメディア芸術振興事業等の子ども若者向け文化芸術事業を継続して実施していきます。

アクションプランの進捗

No.2 スポーツ・レクリエーション事業の実施

担当課：スポーツ振興課

No.	事業名	令和6年度の実施状況	進捗状況
1	スポーツ・レクリエーション事業の実施【継続】	「スポーツ推進計画」に基づき、各施策・事業を計画的に実施 (X Games Chiba 2024、パラスポーツフェスタちば、千葉市家庭バレーボール大会等)	順調

〈アクションプランの分析〉

No.2 スポーツ・レクリエーション事業の実施

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
1	新型コロナウイルス感染症の影響が薄れたことから、スポーツ・レクリエーション活動への参加者が増加していると考えられます。	スポーツ活動を「する」「観る」「支える・ふれあう」人を増やすべく、各施策・事業を継続・拡充していきます。

アクションプランの進捗

No.3 科学関連学習事業の実施

担当課：生涯学習振興課

No.	事業名	令和6年度の実施状況	進捗状況
1	未来の科学者育成プログラムの充実【継続】	<ul style="list-style-type: none"> ・講座参加コース 22 講座 ・課題研究コース 5 講座 ・特別講座 2 講座 ・ジュニアプログラム 8 講座 延受講者数 783 人	順調
2	シニア科学講座の実施【継続】	<ul style="list-style-type: none"> ・大人の工作教室 5 講座 延受講者数 16 人	順調
3	科学関連学習事業の実施【継続】	【公民館】 <ul style="list-style-type: none"> ・講座の実施 102 講座 延受講者数 1,548 人 【生涯学習センター】 <ul style="list-style-type: none"> ・講座を実施 7 講座 延受講者数 433 人 	順調

〈アクションプランの分析〉

No.3 科学関連学習事業の実施

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
1	予定していた全講座を実施することができました。応募方法を改善することにより、受講生の希望が通りやすくとともに、各講座の定員割れの課題を解決することができました。オンライン形式の講座や開閉講式では、原則参加とすることで多くの受講生の出席を実現し、zoomのブレイクアウトルームを利用することで、参加人数が増えても意見交換の機会や時間を確保することができました。	新たな科学分野での講座開設や、既に関係がある外部機関への講座協力を図っていきます。受講希望者の増加があっても、受講生の希望に可能な限りこたえられるように講座の開催方法もオンライン形式やハイブリット形式の開催などを検討していきます。
2	主に NPO 法人ちば算数・数学を楽しむ会から講師を迎えた数学分野での講座と、科学館ボランティアによるプログラミング講座を開催しました。	NPO 法人ちば算数・数学を楽しむ会は未来の科学者育成プログラムジュニア講座でも数講座講師を務めてもらっているため、児童への引率にきた保護者等にも対象に周知をする等の方策を取り、受講者数の増加を図ります。
3	生涯学習センターでは、子どもチャレンジ教室などの科学関連講座を実施し、科学に関する学習機会を提供しました。 公民館では、子ども向けの事業を中心に開催し、一部の講座では科学館や生涯学習センターとも連携することで様々なテーマの講座を実施することができました。	今後も、小・中学生を対象に科学関連の講座を実施し、科学技術を体験できる機会の提供に継続的に取り組みます。

アクションプランの進捗

No.4 青少年教育・少年教育事業の実施

担当課：生涯学習振興課、南部青少年センター

No.	事業名	令和6年度の実施状況	進捗状況
1	主催講座の実施【継続】	<p>【生涯学習センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 青少年関連講座を実施 26 講座 延受講者数 2,864 人 <p>【公民館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 講座の実施 436 講座 延受講者数 6,683 人 <p>【南部青少年センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高校生と一緒に作る科学工作講座などを実施 12 講座 延受講者数 221 	順調

〈アクションプランの分析〉

No.4 青少年教育・少年教育事業の実施

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
1	<p>生涯学習センターでは、子どもチャレンジ教室、青少年の日フェスタ関連事業、子ども読書まつり関連事業など青少年・少年教育に関する学習機会を提供しました。また、高校演劇大会の支援を行いました。</p> <p>公民館では、異年齢の子ども同士が学びあったり、家庭では体験できない体験・工作等を行うことのできる講座を436講座実施しました。</p> <p>南部青少年センターでは、学年の異なる児童生徒に体験の場を提供し、異年齢の交流を通して青少年の健全育成を図るため、12講座を実施しました。</p>	<p>公民館では、今後も市民の学習ニーズを把握しつつ、多様な体験学習機会の提供を継続的に実施します。</p> <p>生涯学習センターでは、主催事業の実施により青少年・少年教育の学習機会として、高等学校演劇発表会の支援により学習成果の発表の場として、継続的に取り組みます。</p> <p>南部青少年センターでは、小中学生を対象に工作・料理など体験活動を重視した講座を開催し、異年齢の交流を通して青少年の健全育成を図ります。</p>

アクションプランの進捗

No.5 電子書籍サービスの充実【拡充あり】

担当課：中央図書館情報資料課

No.	事業名	令和6年度の実施状況	進捗状況
1	電子書籍サービスの充実【拡充】	<ul style="list-style-type: none"> ・提供資料数 13,620 点 (+748 点) ・閲覧回数 278,317 回 (+209,562 回) ・貸出回数 19,207 回 (-1,208 回) ※（ ）は前年比	順調

〈アクションプランの分析〉

No.5 電子書籍サービスの充実【拡充あり】

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
1	利用者ニーズの高い書籍や電子書籍特有の機能を有する書籍の充実を図りました。 特に、令和6年度から電子書籍を活用した学校との連携事業を本格展開していく基盤づくりを進めるため、全小中学校にID・パスワードを配布するなどに取り組んだことにより、多くの児童・生徒に利用されました。	引き続き、市民の学びの場となるよう、電子書籍の充実を図ります。 令和7年度は、学校において電子書籍の一層の活用を図る観点から、児童生徒が一斉に利用できる「読み放題のコンテンツ」を更に充実させるとともに、学校の利用状況等を把握し、必要な改善を進めていきます。

アクションプランの進捗

No.6 レファレンスサービスの充実

担当課：中央図書館情報資料課

No.	事業名	令和6年度の実施状況	進捗状況
1	レファレンスサービスの充実【継続】	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年10月に導入した有料オンラインデータベースサービスを引き続き提供 (データベース種類:「法律・行政」、「経済・経営」、「学術」、「新聞記事」)	順調

〈アクションプランの分析〉

No.6 レファレンスサービスの充実

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
1	オンラインデータベースの導入により、市民が調べたい情報へアクセスすることが容易となるなど、学びの場としての選択肢を増やすことができました。 また、SNSによる利用周知により市民の利用が増えました。	市民向けの活用講座を開催するなど、オンラインデータベースの利便性や活用方法について周知を行い、利用の促進を図ります。

アクションプランの進捗

No.7 多様な主体による学習活動の推進

担当課：生涯学習振興課

No.	事業名	令和 6 年度の実施状況	進捗状況
1	生涯学習センター、公民館において多様な主体と連携した事業の実施 【継続】	【生涯学習センター】 ・民間事業者や大学等との連携講座の実施 13 講座 延受講者数 1,520 人 【公民館】 ・講座の実施 87 講座 延受講者数 3,336 人	順調

〈アクションプランの分析〉

No.7 多様な主体による学習活動の推進

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
1	生涯学習センターでは、民間事業者や大学等と連携し、専門性を生かした講座等を実施しました。公民館では、地域団体や民間事業者などと協力し、多様な学習機会の提供や地域住民の交流の機会を提供しました。	生涯学習センターでは、多様な団体等と連携講座を実施し、専門性の高い多様な学習機会の提供として、継続的に取り組みます。公民館では、引き続き、多様な主体との連携をすることにより、市民の学習機会の充実を図ります。

アクションプランの進捗

No.8 公民館への社会教育主事有資格者配置【拡充あり】

担当課：生涯学習振興課

No.	事業名	令和 6 年度の実施状況	進捗状況
1	公民館への社会教育主事有資格者配置【拡充】	・令和 6 年度末で 37 人配置 (公民館管理室含む)	順調

〈アクションプランの分析〉

No.8 公民館への社会教育主事有資格者配置【拡充あり】

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
1	公民館職員の専門性を高め、市民の社会教育活動を推進するため、社会教育主事任用資格取得を進め、令和 6 年度中に新たに 5 人が有資格者となりました。	今後も社会教育主事講習等に公民館職員を積極的に推薦し、資格取得者の増加に努めます。

アクションプランの進捗

No.9 学習相談の充実

担当課：生涯学習振興課

No.	事業名	令和6年度の実施状況	進捗状況
1	学習相談の充実【継続】	・学習相談の実施 相談件数 2,559 件	順調

〈アクションプランの分析〉

No.9 学習相談の充実

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
1	生涯学習センターでは、専門の相談員による相談業務や関係機関での出前相談を実施しましたが、必要な情報を利用者自身で容易に検索できるようになったことも影響し、相談者数が減少しました。 公民館では、サークルや講座の情報提供、参加についての相談などに対応しました。	相談業務を実施し、きめ細かい助言により相談者の学習活動を支援する機会として、継続的に取り組みます。また、引き続き、市民の学習ニーズに応えるべく相談に対応していきます。

基本施策 2-3 現代的課題に対応する学習機会の提供

施策の方針

- 急速に変化する社会において、新たな時代の課題に対応し、生命やくらしを守る学習や、持続可能なコミュニティづくりにつながる学習の機会を提供します。

成果指標

担当課：生涯学習振興課

No.	成果指標	当初 (R3)	実績 (R6)	中間目標 (R9)	達成状況
9	現代的課題に対応する主催講座受講者数 (生涯学習センター・公民館)	3,990 人	6,689 人	4,300 人	◎

〈成果指標の分析〉

No.	達成状況に対する現状分析	今後の取組み等
9	生涯学習センターでは、イベントや市民講座を計画どおり実施し、概ね目標を達成できています。 公民館では、情報（ＩＣＴ）・防災・環境・健康・消費生活・子育て・国際交流など、多岐にわたるテーマで講座を実施しました。	新たな受講者を獲得できるように市民の学習ニーズや地域の特性などを考慮して講座を企画・実施します。

アクションプランの進捗

No.1 生命や暮らしを守る学習の充実【拡充あり】

担当課：生涯学習振興課

No.	事業名	令和6年度の実施状況	進捗状況
1	生命や暮らしを守る講座の実施【継続】	【生涯学習センター】 ・防災教育、消費者教育講座の実施 7講座 延受講者数 562人 【公民館】 ・講座の実施 165講座 延受講者数 3,019人	順調
2	デジタルデバイドの解消【拡充】	【生涯学習センター】 ・メディア学習講座の実施 55講座 延受講者数 1,884人 【公民館】 ・講座の実施 61講座 延受講者数 906人	順調

〈アクションプランの分析〉

No.1 生命や暮らしを守る学習の充実【拡充あり】

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
1	生涯学習センターでは、現代的課題学習として、防災・防犯教育、健康講座、環境講座、消費者教育をテーマに講座を実施し、生命や暮らしを守る方法についての学習機会を提供しました。 公民館では、健康講座、防犯・防災講座、環境講座、消費者トラブルに係る講座などを165講座実施しました。	防災・防犯教育等の講座を実施し、生命や暮らしを守る方法についての学習機会の提供として、継続的に取り組みます。
2	生涯学習センターでは、初心者向けパソコン講座やスマホ教室等を実施し、デジタルデバイドの解消に努めました。 公民館では、講座開催にあたっては生涯学習センターやスマートシティ推進課などの協力を得て実施したものもあり、他組織の連携により充実した講座の開催が可能となりました。	生涯学習センターでは、初心者向けパソコン講座やスマホ教室等を実施し、デジタルデバイドの解消に向けて、継続的に取り組みます。 公民館では、今後も、市民の学習ニーズや地域の特性などを考慮して講座等の企画を行っていきます。

アクションプランの進捗

No.2 子ども達の放課後対策【拡充あり】

担当課：生涯学習振興課

No.	事業名	令和6年度の実施状況	進捗状況
1	アフタースクール事業の推進【拡充】	・アフタースクール44校運営 (R6:10校移行)	順調
2	放課後子ども教室の実施【継続】	・市立小学校57校で実施 延実施日数788日 延参加児童数35,899人	順調

〈アクションプランの分析〉

No.2 子ども達の放課後対策【拡充あり】

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
1	アフタースクールについては、34校から44校に拡充し、「安全・安心な居場所」と「多様な体験・活動」の提供に努めています。令和6年度に実施したアンケートでは、保護者、児童ともに概ね8割の利用者から「満足」との回答が得られました。	アフタースクールについては、令和7年度に54校に拡充するとともに、令和8年度の10校拡充に向けた開設準備を実施し、原則全校展開に向けた取組を進めていきます。
2	放課後子ども教室については、コロナ禍に比べ実施日数は回復しつつあるものの、実行委員会の負担が大きく、全市的にみると、担い手の確保が困難な状況に変わりはありません。 活動支援については19校、民間委託についてはモデル校1校で実施し、各学校の状況に応じた支援を行いました。	放課後子ども教室については、担い手不足の顕在化が課題となっていますが、実行委員会に対する支援の強化や民間委託により安定的かつ継続的な体験・活動の機会の確保を図ります。

アクションプランの進捗

No.3 家庭教育支援事業の実施

担当課：生涯学習振興課

No.	事業名	令和6年度の実施状況	進捗状況
1	家庭教育支援チーム【継続】	<ul style="list-style-type: none"> ・学習機会の提供 講座数 10 回、延参加者数 482 人 ・相談活動 42 回、延参加者数 63 人 	順調
2	子育てママのおしゃべりタイムの実施【継続】	<ul style="list-style-type: none"> ・子育ておしゃべりタイムの実施 145 回開催 延参加者数 1,565 人 	順調

〈アクションプランの分析〉

No.3 家庭教育支援事業の実施

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
1	子育てに関する情報や学習機会の提供などとおして、家庭と地域、関係機関のつながりづくりを支援しました。	引き続き、情報誌やホームページなどでの情報発信や子育てに関連した講座等を開催します。
2	子育てサポーターや家庭教育アドバイザーが、子育てに関する悩みや不安をもつ親の相談に応じ、子育て仲間づくりを支援しました。	引き続き、「子育ておしゃべりタイム」での相談活動を通じて、子育て中の悩みや不安を解消いただけるように努めます。

アクションプランの進捗

No.4 子ども読書活動の推進

担当課：中央図書館管理課

No.	事業名	令和6年度の実施状況	進捗状況
1	子ども読書活動の推進【継続】	<ul style="list-style-type: none"> ・千葉県子ども読書活動推進計画(第4次)」に基づき、各種事業を実施 ・関係部局に対し、計画事業の進捗状況調査を実施 	順調

〈アクションプランの分析〉

No.4 子ども読書活動の推進

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
1	<p>「どくしょてちょう」を未就学児(約10,000人)、小学生全学年(約57,000人)に、「ファミリーブックタイム事例集」を小学生の新入学生(約9,100人)に、図書館利用申込書と一緒に配布しました。</p> <p>親子おはなし会や地域ボランティアと協働したイベント等を実施し、こどもが読書に親しむ機会を創出しました。</p>	<p>引き続き、千葉県子ども読書活動推進計画(第4次)」に基づく各種事業の実施や、関係部局への進捗状況調査による進行管理を行います。また、次期千葉県子ども読書活動推進計画の策定に向け、関係部局と連携し、子ども読書習慣に関する現況及び課題を調査します。</p>

アクションプランの進捗

No.5 高齢化社会に対応した学習支援

担当課：生涯学習振興課、高齢福祉課

No.	事業名	令和6年度の実施状況	進捗状況
1	生きがいづくり・仲間づくり、健康・福祉に関する講座の開催【継続】	<p>【生涯学習センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療・健康、福祉講座の実施 <p>6 講座 延受講者数 403 人</p> <p>【公民館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講座の実施 <p>135 講座 延受講者数 2,951 人</p> <p>【いきいきプラザ・センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講座の実施 <p>306 講座 延受講者数 42,035 人</p>	順調

〈アクションプランの分析〉

No.5 高齢化社会に対応した学習支援

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
1	<p>生涯学習センター及び公民館では、現代的課題学習として、医療・健康、福祉に関する学習機会を提供しました。</p> <p>（健康セミナー、終活講座やスマートフォンの活用方法を学ぶ講座などの高齢化社会に対応した講座など）</p> <p>いきいきプラザ・センターでは、生きがいや健康作り、仲間作りを目的として、高齢者の教養の向上及びレクリエーションなどの幅広い内容の講座を開催しました。</p>	<p>生涯学習センター及び公民館では、現代的課題学習として、医療・健康、福祉等の学習機会の提供として、継続的に取り組みます。</p> <p>いきいきプラザ・センターでは、今後も社会の変化を注視しながら、利用者ニーズを把握し、継続的な学習機会の提供に努め、引き続き高齢者の健康増進や生きがいある生活が送れるよう支援します。</p>

アクションプランの進捗

No.6 公民館の機能強化【新規あり・拡充あり】

担当課：生涯学習振興課

No.	事業名	令和 6 年度の実施状況	進捗状況
1	地域課題解決に向けた講座及び相談支援体制の充実【新規・拡充】	<ul style="list-style-type: none"> ・各種講座の実施 ・相談支援体制の充実を目的としたモデル事業を実施 ・《再掲》令和 6 年度末で 37 人配置 (公民館管理室含む) 	順調

〈アクションプランの分析〉

No.6 公民館の機能強化【新規あり・拡充あり】

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
1	<p>地域の実情や社会的な要請を踏まえて各種講座を開催しました。また、相談支援体制の充実を図るためモデル事業を実施しました。</p> <p>加えて、公民館職員の専門性を高め、市民の社会教育活動を推進するため、社会教育主事任用資格取得を進め、令和 6 年度中に新たに 5 人が有資格者となりました。</p>	<p>引き続き、地域課題等に取り組む講座を実施していくとともに、相談支援体制の充実を図るためのモデル事業に取り組みます。</p> <p>また、今後も社会教育主事講習等に公民館職員を積極的に推薦し、資格取得者の増加に努めます。</p>

アクションプランの進捗

No.7 キャリア教育・リカレント教育の推進

担当課：教育改革推進課、生涯学習振興課、政策調整課、雇用推進課

No.	事業名	令和6年度の実施状況	進捗状況
1	キャリア教育の推進 【継続】	<p>【生涯学習センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャリア教育関連講座の実施 <p>6 講座 延受講者数 266 人</p> <p>【教育改革推進課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・千葉県キャリア教育新基本方針「未来を拓くキャリア教育」について教員の理解が深まるようキャリア教育主任会や教育課程研究協議会全体会等で説明 ・中学校キャリア教育ノートや進路学習ノートの改訂および配付 ・職業体験学習を実施（小学校 61%、中学校 96%） 	順調
2	リカレント教育の推進 【継続】	<p>【科学館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大人の工作教室の実施 <p>4 講座、講演会 3 回、 トークイベント 5 回、講座 3 回 延受講者数 753 人</p> <p>【政策調整課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リカレント教育に係るチラシの配架 ・千葉県大学連絡会議構成大学が開催している講座等の情報を市のHP上で周知・集約 ・生涯学習センターホームページに、大学連携のリンクを掲載 <p>【雇用推進課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業の研修費支援や資格取得支援制度の拡充 	順調

〈アクションプランの分析〉

No.7 キャリア教育・リカレント教育の推進

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
1	<p>生涯学習センターでは、現代的課題学習として、キャリアプランニング講座、キャリアアップ・就職支援講座、子どものハローワーク講座を実施しました。</p> <p>教育改革推進課では、研修会を通して、各校の取組や教職員の意識について調査を実施をすることができ、実態の把握や今後の取組への検討ができました。</p> <p>また、生徒が主体的に生き方や進路を選択し、夢や目標への見通しをもたせるよう、キャリア教育ノートや進路学習ノートを改訂しました。</p> <p>さらに、職業体験学習の意義について研修会で周知し、また、申込期間を延長しました。実施率が上昇しているので、取組に効果があったと考えられます。</p>	<p>キャリア教育の基本方針や「キャリア・パスポート」の効果的な活用方法への理解が深まるよう、引き続き各研修会で周知をしていきます。</p> <p>生徒が主体的に生き方を考える資料とするため、今後もキャリア教育ノート、進路学習ノート、千葉市専門高校ガイドの改訂を行います。</p> <p>学校のニーズに合った職業体験学習に向け、出前授業の申込期間を通年で実施するとともに、学習の成果について周知していきます。</p> <p>また、生涯学習センターでは、現代的課題学習として、キャリアアップに関する学習機会の提供として、継続的に取り組みます。</p>
2	<p>リカレント教育に係るチラシの配架や、大学の講座等の情報を集約・周知することで、市民が継続的な生涯学習を実施するきっかけを作っています。</p> <p>また、人材育成や人材確保に係る市内中小企業の課題、支援を要する資格や費用規模などを把握し、それを踏まえて、「中小企業人材育成・能力開発推進支援補助制度」、「資格取得支援補助制度」の対象資格や補助上限額の拡充を実施しました。</p> <p>なお、科学館では外部講師を招聘し、科学、技術分野で専門的な内容の講座や講演会を実施しました。延べ受講者数が昨年度の2倍以上になり、多くの市民へリカレント教育の機会を提供することができました。</p>	<p>今後も大学等と連携し、リカレント教育に係る情報発信を継続して実施するとともに、各種補助制度の利用状況や課題を踏まえ、制度の改善を図ります。</p>

アクションプランの進捗

No.8 SDG s の達成に寄与する学習機会の提供

担当課：文化財課、生涯学習振興課

No.	事業名	令和6年度の実施状況	進捗状況
1	縄文社会の持続可能性に関する講座・事業の展開【継続】	・千葉県遺跡発表会講演 (9月29日開催)	順調
2	科学館におけるSDG s に関する事業の展開【継続】	・科学館においてSDG s に関する講座や事業を実施	順調

〈アクションプランの分析〉

No.8 SDG s の達成に寄与する学習機会の提供

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
1	「貝塚から見た縄文時代の古環境と資源利用」と題した講演の中でSDG s と縄文時代の関わりについて触れました。	講座のテーマ設定に当たっては、引き続きSDG s 達成に寄与するものとなるよう取り組んでいきます。
2	貸出用タブレットを活用し、展示物のAR体験をしながら、SDG s を学ぶ機会を提供することができました。	講座の設定やARコンテンツ充実のため、各展示物をSDG s の視点からどのように捉え、アプローチができるかを検討していきます。講座や科学館利用の仕方、貸出物品を活用した活動例等を学校団体等へ呼びかけていきます。

3 学習を生かした活力あるコミュニティづくり

基本施策 3-1 地域の担い手となる人材の発掘・育成

施策の方針

- 地域における学習活動の活発化を図るため、リーダーやファシリテーター、ボランティアなどの人材を発掘・育成します。

成果指標

担当課：生涯学習振興課

No.	成果指標	当初 (R3)	実績 (R6)	中間目標 (R9)	達成状況
10	指導者養成研修受講者数 (生涯学習センター、公民館)	550 人	772 人	630 人	◎
11	ちば生涯学習ボランティアセンター登録者数 (生涯学習センター)	1,872 人	2,069 人	2,100 人	○
12	ちば生涯学習ボランティアセンターにおけるコーディネート件数 (生涯学習センター)	341 件	418 件	380 件	◎

〈成果指標の分析〉

No.	達成状況に対する現状分析	今後の取組み等
10	地域を担う人材の育成を目的に各種講座を開催し、概ね目標を達成できています。	引き続き、地域の社会教育活動が活発となるよう研修を開催していきます。
11	高齢により登録を抹消する登録者もありますが、中間目標を概ね達成できています。	新たな登録者を獲得できるよう広報を強化します。
12	アフタースクールからの依頼も多く、コーディネート件数は増加傾向にあります。	新たな利用者を獲得できるよう広報を強化します。

アクションプランの進捗

No.1 公民館への社会教育主事有資格者配置【拡充あり】《再掲》

担当課：生涯学習振興課

No.	事業名	令和 6 年度の実施状況	進捗状況
1	公民館への社会教育主事有資格者配置【拡充】	・《再掲》令和 6 年度末で 37 人配置 (公民館管理室含む)	順調

〈アクションプランの分析〉

No.1 公民館への社会教育主事有資格者配置【拡充あり】《再掲》

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
1	公民館職員の専門性を高め、市民の社会教育活動を推進するため、社会教育主事任用資格取得を進め、令和 6 年度中に新たに 5 人が有資格者となりました。	今後も社会教育主事講習等に公民館職員を積極的に推薦し、資格取得者の増加に努めます。

アクションプランの進捗

No.2 ボランティアの発掘・育成

担当課：生涯学習振興課、加曽利貝塚博物館、郷土博物館、中央図書館情報資料課

No.	事業名	令和6年度の実施状況	進捗状況
1	ちば生涯学習ボランティアセンター運営【継続】	・生涯学習ボランティアセンターの運営 登録者数 2,069 人 コーディネート件数 418 件	順調
2	科学館ボランティア【継続】	・科学館ボランティアの実施 ボランティア登録人数 270 人 ボランティア活動参加日数 337 日 ボランティア参加延人数 1,475 人	順調
3	加曽利貝塚博物館ボランティア【継続】	・基礎研修 (6/13・6/20・6/27) ・専門研修 (7/5～7/9)	順調
4	郷土博物館ボランティア【継続】	休館のためボランティア養成事業は休止	休止
5	図書館ボランティア【継続】	・スキルアップ講座の実施 2回 20人 ・スキルアップ研修の実施 5回 36人	順調

〈アクションプランの分析〉

No.2 ボランティアの発掘・育成

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
1	生涯学習ボランティアの登録受付、登録者名簿の作成・更新を行い、学校や公民館等へ配布しました。依頼内容に応じたボランティアを紹介するコーディネートをを行いました。	生涯学習ボランティアの登録受付、登録者名簿の作成・更新・紹介など、引き続きボランティア活動を支援します。
2	年間を通じて定期的にボランティア募集（説明会）を実施することができました。夏季休業中には小中学生のボランティア参加も実施することができました。	継続して登録している方の割合が増えているので、新規の登録も増加できるよう募集の方法を検討します。学生等の若年層のボランティア参加の増加を図ります。
3	ボランティアガイドを募集し、育成のために学芸員による専門研修を実施しました。受講者全員が加曽利貝塚ガイドの会に加入し、会員の登録者数は60人となりました。	引き続き加曽利貝塚ガイドの会の会員を募集し、育成に努めます。
4	リニューアルによって展示内容も変わるため、ボランティアの養成事業は休止しました。	リニューアルオープン後はボランティアに対する養成講座を実施いたします。
5	中央図書館では、地域おはなしボランティアの活動を支える技術・知識等の向上を図るため、スキルアップ講座を実施しました。 また、中央図書館・地区図書館では、地域おはなしボランティアの考え方の再確認と活動に関する対話による知識向上を図るため、スキルアップ研修（おはなし勉強会）を実施しました。	登録している地域おはなしボランティアのため、今後も継続して実施いたします。 第8期（2019年登録）が一番新しい登録になりますが、コロナ禍に活動機会が少ない状況でした。継続的な研修の実施により、スキルの維持向上に努めていきます。 また、次期（第9期）の要請についても実施時期を検討します。

アクションプランの進捗

No.3 ボランティアセンター等におけるコーディネートの実施

担当課：生涯学習振興課

No.	事業名	令和 6 年度の実施状況	進捗状況
1	ちば生涯学習ボランティアセンターにおけるコーディネート【継続】	・ コーディネートの実施 コーディネート件数 418 件	順調

〈アクションプランの分析〉

No.3 ボランティアセンター等におけるコーディネートの実施

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
1	ちば生涯学習ボランティアセンターにおけるコーディネートを実施し、ボランティアとその支援を必要とする団体等のマッチングを行いました。	ちば生涯学習ボランティアセンターにおけるコーディネートを実施し、ボランティアがさらに活用されるよう、継続的に取り組みます。

アクションプランの進捗

No.4 団体・グループ活動のリーダーやファシリテーターの養成・育成

担当課：生涯学習振興課

No.	事業名	令和6年度の実施状況	進捗状況
1	指導者養成研修【継続】	<p>【生涯学習センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講座の実施 8 講座 延受講者数 287 人 <p>【公民館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講座の実施 12 講座 延受講者数 485 人 	順調

〈アクションプランの分析〉

No.4 団体・グループ活動のリーダーやファシリテーターの養成・育成

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
1	生涯学習センターでは、地域活動で求められるコミュニケーション能力やコーディネート力のある人材育成のための講座を実施しました。 公民館では、地域活動、団体・グループ活動等の担い手となる人材の養成・育成のため各種講座を実施しました。	生涯学習センターでは、人材育成に関する講座を実施し、地域活動で求められる人材育成の機会として、継続的に取り組みます。 公民館では、引き続き、地域の社会教育活動が活発となるよう研修を開催していきます。

アクションプランの進捗

No.5 社会教育関係団体の育成

担当課：生涯学習振興課

No.	事業名	令和6年度の実施状況	進捗状況
1	社会教育関係団体の育成【継続】	<p>【生涯学習センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校・地域支援者研修の実施 <p>2 講座 延受講者数 82 人</p> <p>【公民館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講座の実施 <p>32 講座 延受講者数 559 人</p>	順調

〈アクションプランの分析〉

No.5 社会教育関係団体の育成

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
1	<p>生涯学習センターでは、PTA、放課後こども教室コーディネーターなどを対象とした研修を実施しました。</p> <p>公民館では、利用者団体や地域団体等を対象に活動の充実を図ることを目的とした各種講座を 32 講座実施しました。</p>	<p>生涯学習センターでは、PTA 等の社会教育団体向けの研修を実施し、社会教育関係団体の育成を図る機会として、継続的に取り組みます。</p> <p>公民館では、引き続き、社会教育関係団体への支援の一環として、各種講座等を実施します。</p>

基本施策 3-2 市民の参加・協働による学習成果の活用

施策の方針

- 学んだ成果が地域に還元され、様々な課題の解決が図られることで、持続可能なコミュニティの形成につながるよう、活用方法や機会を提供します。

成果指標

担当課：生涯学習振興課、加曽利貝塚博物館、郷土博物館

No.	成果指標	当初 (R3)	実績 (R6)	中間目標 (R9)	達成状況
13	市民自主企画講座受講者数 (生涯学習センター)	187 人	556 人	550 人	◎
14	博物館ボランティアガイドの解説を受けた見学者数 (加曽利貝塚博物館、郷土博物館)	7,517 人	16,360 人	33,200 人	○

〈成果指標の分析〉

No.	達成状況に対する現状分析	今後の取組み等
13	計画どおり実施し、概ね目標は達成できました。	多くの受講者を獲得できる講座の企画・実施を支援します。
14	加曽利貝塚博物館では、令和 5 年度とほぼ同じ人数です。感染症対策が緩和され、個人での利用だけでなく、一般団体・学校団体の来館が回復に向かいつつある状況と考えられます。 郷土博物館では、9 月 30 日から展示リニューアルで休館したため、人数は前年度より減っていますが、それまでの人数としては平年並みでした。	継続して来館してもらえよう、丁寧な対応を心掛けて取り組んでいきます。 郷土博物館リニューアルオープン後もボランティアによる展示解説は理解促進に効果的なことから、継続して実施します。

アクションプランの進捗

No.1 市民自主企画講座や施設ボランティアによる学習機会の提供

担当課：生涯学習振興課、加曽利貝塚博物館、郷土博物館、中央図書館情報資料課

No.	事業名	令和6年度の実施状況	進捗状況
1	市民自主企画講座や施設ボランティアによる学習機会の提供【継続】	<ul style="list-style-type: none"> 市民自主企画講座の実施 12 講座 延受講者数 556 人 施設ボランティアによる講座の実施 35 講座 延受講者数 1,840 	順調
2	市民自主企画講座の実施【継続】	<ul style="list-style-type: none"> 特別講座の実施 8 講座 延受講者数 375 人 プラネタリウム特別投影 8 講座 延受講者数 1,893 人 	順調
3	加曽利貝塚博物館ボランティア【継続】	<ul style="list-style-type: none"> 解説回数 274 回 モノレールまつり（10/19）、若葉区民まつり（11/3）、まなびフェスタ（12/7）などへの参加 	順調
4	郷土博物館ボランティア【継続】	<ul style="list-style-type: none"> ボランティア（登録者数 53 人）による展示解説 859 回実施（延 2,008 人） 	順調
5	地域おはなしボランティアの派遣【継続】	<ul style="list-style-type: none"> 育児サークル、保育施設、学校等の読み聞かせへの派遣 活動場所：36 箇所 活動回数：37 回 活動人数：107 人 	順調

〈アクションプランの分析〉

No.1 市民自主企画講座や施設ボランティアによる学習機会の提供

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
1	市民自主企画講座（9 講座）、市民自主企画パソコン講座（3 講座）や施設ボランティアによる講座（パソコン、デジカメ等）の運営をサポートしました。	市民団体や施設ボランティアと協働して、講座を企画・実施します。
2	プラネタリウム機器更新や開催中の企画展内容と関連させた内容のイベントを適時的に実施することができました。	更新されたプラネタリウム投影機、システムの利点を活用した講座内容を検討し、市内各団体へ周知していきます。
3	各種イベントに出店し、縄文時代に関する体験事業を実施すると共に、加曽利貝塚の周知活動を行いました。	加曽利貝塚へ興味・関心を持ってもらえるよう、引き続き活動していきます。
4	ボランティアによる展示解説は概ね好評であり、来館者の理解がより深まったものと考えています。	令和6年度下半期から令和7年度上半期にかけて休館の上、展示リニューアルを行うためその間の活動は中止となりますが、リニューアル後もボランティアによる展示解説は理解促進に効果的なことから、継続して実施します。
5	育児サークル、保育施設、学校等の読み聞かせへの派遣を実施しました。	継続して実施していきます。

アクションプランの進捗

No.2 生涯学習ボランティアの活動場所の提供

担当課：生涯学習振興課

No.	事業名	令和6年度の実施状況	進捗状況
1	生涯学習センター内にボランティア活動スペースを提供【継続】	・ボランティアセンター登録者紹介講座の実施 38 講座 延受講者数 1,440 人	順調

〈アクションプランの分析〉

No.2 生涯学習ボランティアの活動場所の提供

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
1	対面での開催やオンライン配信を活用し、ボランティア登録者紹介講座を実施しました。	対面とオンライン配信の併用によりボランティアセンター登録者紹介講座を実施し、生涯学習ボランティアの活動の場・情報発信の機会として、継続的に取り組めます。

アクションプランの進捗

No.3 千葉市版コミュニティ・スクールモデル校の拡充【拡充あり】

担当課：学事課

No.	事業名	令和6年度の実施状況	進捗状況
1	モデル校の設置【拡充】	<ul style="list-style-type: none"> モデル校(川戸小中一貫教育校)での活動 (小中一貫教育校として培われた取組を基盤とし、充実した地域人材による教育活動が行われている。新たな千葉市版CSのモデル校として新しい形を構築している。) 	順調

〈アクションプランの分析〉

No.3 千葉市版コミュニティ・スクールモデル校の拡充【拡充あり】

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
1	モデル校では、児童が地域と関わる場面が増え、地域への理解や関心が深まりました。活動の充実を図るため文部科学省のマイスター派遣制度を活用しモデル校の校内研修会や教頭研修会で講演を行いました。コミュニティスクールの制度の理解促進を図ることができました。	令和7年度には新たに誉田中、誉田小、誉田東小、磯辺第三小の4校をモデル校に指定し、新たに中学校区での取組を実施予定です。千葉市全体へのコミュニティスクールの横展開を見据え、様々なタイプのモデル校を増やしていきます。

アクションプランの進捗

No.4 学習成果の発表機会の提供

担当課：生涯学習振興課、障害者自立支援課

No.	事業名	令和6年度の実施状況	進捗状況
1	まなびフェスタ・ボランティアフェア【継続】	まなびフェスタを開催（12月7日、8日）	順調
2	公民館文化祭【継続】	・全47館のうち43館で実施 （未実施：隔年開催の2館、投票所開設に伴う中止1館、空調工事改修中のため休館の1館を除）	順調
3	障害者作品展の開催【継続】	・令和6年10月11日（金）～10月16日（水）に開催	順調

〈アクションプランの分析

No.4 学習成果の発表機会の提供

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
1	まなびフェスタを開催し、気軽に生涯学習に触れる機会を提供しました。 ボランティアフェアを開催し、生涯学習及びボランティア活動に対する市民の理解促進、普及啓発を図りました。	まなびフェスタを開催し、生涯学習の意義や学びの楽しさを伝える機会として、継続的に取り組みます。 ボランティアフェアを開催し、生涯学習及びボランティア活動に対する市民の理解促進、普及啓発に取り組みます。
2	日頃の学習成果の発表の場、住民の交流、親交を深める場となり、生きがい、地域づくりにつながる取り組みの一つとなっています。	文化祭の運営を担っているクラブ連絡協議会等と引き続き連携、協力し、文化祭の開催を支援していきます。
3	令和6年度は、千葉市美術館9階市民ギャラリーにて、10月11日（金）～10月16日（水）の6日間開催しました。展示作品数は226点で、市政だよりへの掲載やチラシの配布、ポスターの掲示を通して広報活動を行った結果、令和5年度より多くの方にご来館いただきました（297名→384名（+87名））。	より多くの方に作品をご覧いただくため、広報活動としてチラシの配布先やポスターの掲示場所の拡充等に取り組みます。

アクションプランの進捗

No.5 地域交流・多世代交流事業の実施

担当課：生涯学習振興課

No.	事業名	令和6年度の実施状況	進捗状況
1	地域交流・多世代交流事業の実施【継続】	・講座の実施 96 講座 延受講者数 8,948 人	順調

〈アクションプランの分析〉

No.5 地域交流・多世代交流事業の実施

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
1	世代に関わらず参加できるコンサート等のイベントの開催により、地域の住民が集い、交流をする場を提供しました。	引き続き、多世代の市民が参加できる講座等を実施していきます。

アクションプランの進捗

No.6 青少年交流事業の実施

担当課：生涯学習振興課、南部青少年センター

No.	事業名	令和6年度の実施状況	進捗状況
1	青少年交流事業の実施【継続】	<p>【生涯学習センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青少年関連講座の実施 <p>26 講座 延受講者数 2,864 人</p> <p>【南部青少年センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゆめチャレンジを1月25日、26日に開催 <p>延参加者数 658 人</p>	順調

〈アクションプランの分析〉

No. 青少年交流事業の実施

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
1	<p>生涯学習センターでは、子どもチャレンジ教室、青少年の日フェスタ関連事業、子ども読書まつり関連事業など青少年・少年教育に関する学習機会を提供しました。また、高校演劇大会の支援を行いました。</p> <p>南部青少年センターでは、学生ボランティアの協力を得ながら「ゆめチャレンジ」を開催し、「利用団体の成果発表の場」「異世代交流」「地域住民との交流の場」を参加者及び来場者に提供しました。</p>	<p>生涯学習センターでは、主催事業の実施により青少年・少年教育の学習機会として、高等学校演劇発表会の支援により学習成果の発表の場として、継続的に取り組めます。</p> <p>南部青少年センターでは、設備の老朽化により令和7年3月31日をもってホール利用を停止としたことから、ホールを使用するゆめチャレンジ事業を中止します。</p> <p>なお、同ホールを使用している中学校演劇発表会などは、学習成果の発表の場を生涯学習センターに引き継ぐことで、支援を継続しています。</p>